



Voice 実際に使っている皆さんにインタビュー！
GIGA スクールの今とこれから。

先生の声

ICTが持つ「つながる力」には保護者や地域住民のみならずと学校をつなぐ可能性を感じています。今後は、ICT活用の幅が学校の授業に限らず、地域と連携した学びにも広がっていくことを期待しています。



中学生の声

タブレットで入力した意見が電子黒板やそれぞれのタブレットで共有できるので、発表するのが苦手な人でも意見を発信できます。また、色々な意見を聞けるので、より深い議論ができるようになったと感じます。



小学生の声

授業中にわからない言葉が出てきても、タブレットですぐに調べることができるのでとても便利です。他にも、動画を教材として使えるのでわかりやすいし、授業中に学べるが多くなったと思います。



**ICT教育の、
 これから。**

質の高い教育をみんなに。SDGsには4つ目に教育の目標が設定されています。これからの未来を担う子どもたちを育てることは持続可能な社会のためにも不可欠。GIGAスクール構想は教育のデジタル化により、誰ひとり取り残さない学びの創出を目的としています。

不可欠なICT教育

今後、教育のデジタル化は多岐にわたります。教科書のデジタル化。埼玉県学力・学習状況調査や全国学力調査、大学共通入学テストもコンピュータを使った方法に変わります。もはや、子どもたちにとってICT端末を使いこなすことは、読み書きや計算とともに必要不可欠な能力になってきているとも言っても過言ではありません。学校は社会へ出るための能力

身に着ける準備の場所。町内小中学校は、ICT機器の利便さや情報漏洩の危険性、ネットリテラシーなど、安全に使うためのルールを学び、正しく使う練習の場になっています。

**誰ひとり取り残さない
 学びへ**

教育に多くの変化をもたらしているGIGAスクール構想。変わるものも多いい中で、人とのコミュニケーションや読み書きなどの基礎的な学びは変わりません。重要なのは子どもたちの創造性を育み、これからの社会の創り手として資質や能力を育成していくこと。ICTはあくまでそのためのツールです。誰ひとり取り残さない学びへ。変わらないものを大切にしながら、三芳の教育はこれからも進化を続けます。

—— 特集・終 ——



ICTを最大限に活かした学びの改革

これからの変化の激しい予測困難な社会を子どもたちが主体的に生きるためには、一人ひとりの知性を高め、感性豊かな心と創造性を育み、自らの未来を切り拓く力を育成することが大切です。町としては、学習のひとつのツールとしてICTを活用し、誰ひとり取り残すことなく、個別最適な学びと協働的な学びにより子どもたちの良さや可能性を伸ばす、「三芳町 GIGA スクール構想」を推進していきます。

三芳町教育委員会
 教育長 **古川 慶子**



**子どもだけじゃない
 先生たちも勉強中!**

9月から小学4年生以上の教室に設置された電子黒板。授業での更なる活用のため、放課後に先生の研修会を実施しています。研修会に参加した先生たちは、新たな活用の可能性を模索しながら真剣な面持ちで聴き入っていました。